



影の部分を生きたこと

～漫画から見る「私」へのまなざし～

もうすぐ夏休みですね。昭和大学の学生相談室に勤務するようになり、驚いたことの一つは、医療系の学生の夏休みが短いことです。短い期間でも、頭と心と体を休め、リフレッシュできるといいですね。



今回は、一つの漫画を題材に、話を進めようと思います。

「はなものがたり」 schwinn 作 (コミックフラッパー) 連載中

主人公のはな代は夫を亡くし、気の抜けた日々を送っていました。ある日、いつも買い物に出かける町で初めて化粧品店の存在に気づき、店主の芳子に出会います。芳子との出会いを通して、はな代は化粧をし、好きな服を着ることに心を躍らせます。今までは「女の子だから」という理由で、進路を諦め、家族のために、「年だから」という理由を基準に生きてきました。芳子との出会いを通して、眠っていた自分の思いを手繰り、「私はどうしたいのか」という「自我」に目覚めていきます。それは、「装うこと」に限られません。「今まで生きてみたかった私」、「ないと思い込んでいた道」に光をあてられ、心を揺さぶられることでした。ある日「またはな代さんの話しましょ、うちうちの話します」と芳子は、はな代に語ります。

この漫画では「その人が生きてこなかった部分におそろおそろ光をあて、眠っていた自分の思いが目覚め、それを生きていくさま」が丁寧に描かれています。私達の毎日も「求められていることに答えること」、「望ましい姿を生きたこと」、「どう見られるか」、「合理性」にとかく目を向けられがちです。時には、認めがたい、あるいは今まで光を当ててこなかった自分



発行日：2022年8月1日

発行者：昭和大学学生課 TEL 03-3784-8024

学生相談室 TEL 03-3784-8285

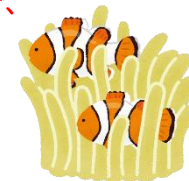
の感情に開かれること、少し近づいて見ること、「私」の内側を見つめ、言葉にすることで気づくこともあるかもしれません。カウンセリングではそのような自分を見つめる過程に共に取り組むこともあります。

(大河原)

****お知らせ****

夏休み中も学生相談室は開いています(8月12、16日は閉室)。日頃忙しくて来室できない人、「誰にも話せない」と塞いだ気持ちになっている人、休み明けに不安がある人も一人で抱え込まず、気軽にご相談ください。

参考：「はなものがたり」 schwinn 作
コミックフラッパー



(本学ホームページの学生部コーナーより、予約状況を見ることもできます)

8月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月の予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	29	27	28	29	30	